

「男性介護者と支援者の全国ネットワーク」

結成宣言

この4月で介護保険がスタートして10年を迎えます。この制度は、家族介護者の負担解消を大きな旗印として施行されましたが、それでも今なお家族介護者の抱える負担や課題は解消されたいはず、不幸な介護事件は後を絶ちません。むしろ、家族介護者をめぐっては、介護保険制度など一定の在宅介護の環境整備の中で以前とは異なる新たな状況や問題も発生しています。在宅介護の長期化、高齢化、重度化であり、介護する男性の増加もその一つの特徴的な現れといえます。すでに、「主たる介護者」の4人に1人は男性となり、都市部では3割を超えともいわれています。欧米ではすでに4割を超えているという報告もあり、介護を担う男性はもはや珍しい存在ではありません。

男女が共に介護を担う社会という視点から見れば、介護役割を担う男性が増えてくるというのは、たしかに喜ばしいことには違いありません。しかし、これまで家事や介護などのスキルを期待されることがなかった男性介護者の実態や、この間、続発している介護殺人や虐待の加害者の多くが息子や夫という男性であるという事実をみれば、決して手放しで歓迎されるような事態とは言えないのが現実です。

一方、地域に目を向ければ、男性介護者の悩みや願いに寄り添い、課題を共有しながら、男性介護者の会づくりや支援活動が、徐々にではありますが、全国的に広がっています。そして、これらの活動を通して、男性の介護実態やその支援方法についての貴重な経験知が蓄積されつつあります。しかし、こうした動向は、残念ながら社会全体に広く認知されるまでには至っていません。

いまあらためて、家族介護者の抱える問題を、男性介護者に焦点をあてることによって介護政策上の問題、さらにはわが国の政治・経済・社会システムの問題をより明らかにすることができるに違いありません。そしてこのことが誰もが老後を健やかに過ごすことができる社会を創り出す力のひとつになると思います。

私たちは、介護する側もされる側も、家族介護者の男性も女性も、誰もが安心して暮らせる社会ができるように、①各地で誕生しつつある男性介護者の会や支援活動について、相互の交流促進や情報交換を促進することによって、男性介護者の孤立の解消と地域を基盤とした男性介護者相互の支え合いの仕組みづくりを支援したいと考えています。さらに、②家族介護者支援についての調査研究や政策提言も、積極的に行っていきたいと考えています。男性介護者と支援者の全国的なネットワークが必要だ、という思いから、志を同じくする皆さんと共におよそ一年間に渡る準備期間を経て、ここに「男性介護者と支援者の全国ネットワーク」を結成するに至りました。

男性介護者の会や支援活動団体をはじめ、介護のまっただ中にある男性介護者や介護を終えた男性介護者、介護専門職・ボランティアなどの支援者、研究者など、この男性介護者をめぐる問題に関心のある皆さんはもちろん、広く家族介護者支援や介護政策に関心を持つ多くの市民の積極的なご参加を訴えるものです。

介護保険制度の発足10年を目前にして、私たちは新しい介護社会の実現を目指し「男性介護者と支援者の全国ネットワーク」を結成することをここに宣言します。

2009年3月8日

男性介護者と支援者の全国ネットワーク

代表 荒川不二夫

<問い合わせ先>

〒602-8143 京都市上京区堀川通り丸田町下ル 京都社会福祉会館

社団法人 認知症の人と家族の会気付け「男性介護者と支援者の全国ネットワーク準備会」

Tel 075-811-8195 Fax 075-811-8188